

平成21年度事務事業評価表	担当	市民福祉部 長寿課	内線等	2205
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	ひとり暮らし老人等実態調査費（シルバーカード整備事業）			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け（該当しない事業については記入不要です。）				
基本目標	3．健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉	
基本目標、施策に対する貢献度		3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	子どもやお年寄り、障害者などの社会的弱者を守るまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

対象(受益者)	65歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦世帯及び高齢者のみ世帯を対象に
手 段	実態把握調査を実施し
成果、目標	高齢者福祉サービスの基礎データを把握する。

成果指標

成果指標名	登録率		
成果指標の説明	登録世帯/老人人口×100		
指標の推移	平成20年度決算（実績）	平成21年度決算（実績）	平成22年度予算（計画）
成果指標	20.2%	20.6%	20.8%
成果指標			

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
登録世帯	3,847世帯	4,054世帯	4,174世帯
高齢人口	19,054人	19,657人	20,054人

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	0.15人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H21 人工計	0.10人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職	0.10人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	213	540	289
	人件費	840	550	
	合計	1,053	1,090	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	1,053	1,090	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	県内においても高齢化率が第2位の当市において、高齢者問題は今後増大する中で、ひとり暮らし世帯、高齢者夫婦世帯などの実態を把握することで、緊急時の対応が迅速になる。多くの個人情報把握するため市での対応が必要である。
-------------	----	--

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	シルバーカードの個人情報の聞き取りの内容を変更することで、より効率的かつ個人情報の保護に努めた。
現在の課題、問題点	任意の登録のため全ての情報を確保し、対応することが出来ない。
今後の改善計画	なるべく多くの人に登録して貰えるような広報の仕方を考えていく。